

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
1	94	5～12, 側注	(原文) $Z_i = \frac{R_{AB} h_{ie}}{R_{AB} + h_{ie}} = \frac{1}{\frac{1}{R_A} + \frac{1}{R_B} + \frac{1}{h_{ie}}} \quad (7)$ 出力端子からみた出力インピーダンス Z_o は、次のようになる。 $Z_o = R_L \quad (8)$ また、入力電流 i_i と出力電流 i_o を求めると、次の式となる。 $i_i = \frac{v_i}{Z_i} = \frac{h_{ie} i_b}{Z_i} \quad (9)$ $i_o = i_c = h_{fe} i_b \quad (10)$ 式(9), (10)より、電流増幅度は、次のようになる。 $\text{電流増幅度 } A_i = \left \frac{i_o}{i_i} \right = \frac{i_c}{\left(\frac{v_i}{Z_i} \right)} = \frac{h_{fe} i_b}{\left(\frac{h_{ie} i_b}{Z_i} \right)} = \frac{h_{fe}}{h_{ie}} Z_i \quad (11)$	① 図3の入力端子は、$v_i = Z_i i_i = h_{ie} i_b$ の関係がある。
			(訂正文) $Z_i = \frac{R_{AB} h_{ie}}{R_{AB} + h_{ie}} = \frac{1}{\frac{1}{R_A} + \frac{1}{R_B} + \frac{1}{h_{ie}}} \quad (7)$ 出力端子からみた出力インピーダンス Z_o は、次のようになる。^{① 挿入} $Z_o = R_L \quad (8)$ また、入力電流 i_i と出力電流 i_o を求めると、次の式となる。 $i_i = \frac{v_i}{Z_i} = \frac{h_{ie} i_b}{Z_i} \quad (9)$ $i_o = i_c = h_{fe} i_b \quad (10)$ 式(9), (10)より、電流増幅度は、次のようになる。 $\text{電流増幅度 } A_i = \left \frac{i_o}{i_i} \right = \frac{i_c}{\left(\frac{v_i}{Z_i} \right)} = \frac{h_{fe} i_b}{\left(\frac{h_{ie} i_b}{Z_i} \right)} = \frac{h_{fe}}{h_{ie}} Z_i \quad (11)$	① 本来の出力インピーダンス Z_o は R_C となるが、実際の回路設計においては、次段の入力インピーダンス R_i などを考慮したほうがよいこともある。ここでは、R_C と R_i の合成抵抗 R_L を出力インピーダンスと考える。 ② 図3の入力端子は、$v_i = Z_i i_i = h_{ie} i_b$ の関係がある。

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
2	114	8	$Z_i = \frac{R_1 R_2}{R_1 + R_2} - \frac{1 \times 10^6 \times 281 \times 10^3}{1 \times 10^6 + 281 \times 10^3} \doteq 219 \text{ k}\Omega$	$Z_i = \frac{R_1 R_2}{R_1 + R_2} = \frac{1 \times 10^6 \times 281 \times 10^3}{1 \times 10^6 + 281 \times 10^3} \doteq 219 \text{ k}\Omega$
3	220	図 1 (d)		